

上天草総合病院理念
 信頼される地域医療
 基本方針

1. 私達は患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療連携室

FAX : 0969-62-1547(直通)

住所: 866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話: 0969-62-1122(代) FAX: 0969-62-1546

URL : <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>Eメール ; kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp

発行責任者: 地域医療連携室長 福田 誠



年頭所感

若者たちが盛り立てる病院に

病院長 坂本 興美

《上天草市が必要とする地域医療構想に》

昨年一番驚いたのは、天草全体で慢性期病床を10年後、現在の1300床台から300床台まで減らすという11月の新聞報道です。ただこれには同じく10年後、介護保険の施設がどう再編されるかという問題が関連します。だから不透明です。都市部中心のこの構想を、天草それも上天草市の10年後に応じて噛み砕いて、対応したいと思います。

《DPC制度を取り入れます》

今年4月からの予定です。すでに準備病院としてこれまで毎年、厚生労働省にデータ報告してきました。そして今回DPC制度への参入を決めました。それは病院収入増に欠かせないからです。ただ利点も欠点もあります。入院患者さんの主体は60歳代から80歳代の高齢者です。患者さんに病院を効率よく利用していただくのが課題の一つ、そして退院後の生活にうまく移行していただくのが課題のもう一つです。

《退院支援会議に積極的な参加ありがとうございます》

退院援助はスタッフが、チームで取り組みます。栄養士やリハビリ担当者に看護師そして地域連携室の担当者たちです。さらに最近力強く感じるのは、医師会の先生方が関係される施設のスタッフが、病院内で開催するこの会議に参加して下さることで、おかげで施設の職員さんやケアマネージャーさんの顔を少しずつ覚えるようになりました。

《医師数減にめげない工夫》

昨年は病院の医師数が減りました。しかし患者さんの数は変わりません。にもかかわらず医療の質を保ち、やってこれた、と思います。そのためにスタッフが皆、工夫をしました。

たとえば、医師事務補助員の働きが軌道にのりました。入院保険の書類から介護サービス利用申請に必要な医師意見書など書類作成準備をします。大学病院から応援に来て下さる医師の診察に同行し、電子カルテ入力を行います。

《研修医や実習生は大きな戦力》

病院には地域医療研修のため4週間、医師になって2年目の研修医が来ます。かれらは医師として新しい経験をどんどん吸収します。患者さんの話を聞こうという姿勢から、適切な治療はなにかという探求心まで、熱意は現役医師に引けをとりません。

《地元のみなさんの言葉が大きな励まし》

その研修医が感動したのは、上天草市で出会った地元の人の言葉です。それは、研修という縁があって上天草市まで来てくれた大切なお医者さん、という言葉です。

研修医だけではありません。医学部5年生の臨床実習も2月からはじまります。理学療法士や栄養士などをめざす実習生も病院に来ます。そしてなによりも、付属看護学校の学生がいます。看護学生は学校の新校舎が今年末に完成するのを楽しみにしています。若者たちに励ましの言葉を頂けると嬉しいです。



天草市立御所浦診療所

所長 古賀 義規 先生

住所 熊本県天草市御所浦町御所浦2891-3
電話 0969-67-2007



御所浦診療所の古賀と申します。2015年4月に赴任しました。専門は総合診療（特に家庭医療）です。

御所浦町は、御所浦島、牧島、横浦島の3つの有人離島からなる地域で、御所浦島に御所浦診療所が、横浦島に御所浦北診療所があり、地理的に上天草総合病院に近いこともあり同病院には大変お世話になっております。住民の受療動向だけでなく、医師の支援という意味でも、現在御所浦診療所に対して眼科専門外来の支援があります。昨年度までは代謝内科専門外来、内科外来の支援もありました。さらには横浦島の御所浦北診療所に至っては、今年度からは御所浦診療所から週2回出向しています。昨年度までは全面的に上天草総合病院からの支援でした。

そうは言っても船での通院はやはり便利とは言えず、また一方で上天草総合病院自体も医師不足の煽りを受ける事態になり、今年度は上述した体制となっております。その中で御所浦診療所に求められる機能は、やはり総合診療です。

プライマリ・ケア連合学会は、総合診療専門医の専門性について「領域別専門医が『深さ』が特徴で

あるのに対し、『扱う問題の広さと多様性』が特徴」としています。日常的に頻度が高く、幅広い領域の疾病と傷害等について、適切な初期対応と必要に応じた継続医療を全人的に提供することが求められており、また地域によって異なるニーズに的確に対応できる『地域を診る医師』としての視点も重要であり、他の領域別専門医や他職種と連携して、多様な医療サービスを包括的かつ柔軟に提供することが期待されています。

近年このような総合診療専門医に対する期待は大きくなっていきます。医学生への進路選択の1つとしても徐々に注目されるようになっており、H28年2月以降は熊本大学の医学部5・6年生の特別臨床実習にも協力予定です。地域住民の皆様や保健・医療・福祉のスタッフにも将来の地域医療の担い手の育成にご協力願いたいと思います。

御所浦に赴任して8か月になります。平日御所浦で過ごし、週末熊本市で家族と過ごす生活です。週末不在で地域住民の方々や周辺医療機関の方々にはご迷惑をおかけしております。家庭と仕事の両立を維持させてもらっており、このような環境を作って頂き、関係者の皆様にも感謝いたしております。今後とも宜しく願い申し上げます。

ナイトサロンを開催しました



11月27日（金）午後7時よりがんサロン「アクアマリン」はアロマ研修室にてナイトサロンを開催しました。今回、夜の開催は初めての試みで不安もありましたが、新規の方の参加もあり、無事に開催することができました。

まず、松江保健師の「がん検診について」の講演があり、その後に情報交換会を行いました。閉会の時間を過ぎても話は尽きないようでした。

今後も、開催時間、場所など検討しながら、仕事をされている方も気軽に参加できるサロンを計画していければと思います。



冬のクリーン作戦を実施して

12月5日（土）午前8時より恒例の冬のクリーン作戦を行いました。例年になく暖かい日差しの中、ベランダ、窓ガラス、ブラインド、エアコンフィルターなど、日頃手の届かない所を念入りに掃除しました。

これで、新しい1年を気持ちよく迎えられそうです。



BLS講習会を受講して

リハビリテーション係長 楠本 譲治

私事ですが12/10、BLSヘルスケアプロバイダーコース（以下：BLS）「AHA 心肺蘇生と救急心血管治療のためのガイドライン2010」を準拠、を初めて受講しました。一部は看護師の受講、二部からの参加であり看護師2名、コメディカル4名、計6名をインストラクター4名での親切丁寧な講義・実技指導を15時から20時まで講義・実技を実施、試験を踏まえると20時半までの約5時間半の有意義な研修内容でした。（翌日は筋肉痛になるくらい、歳でしようか？）

そもそもBLSとは？「Basic Life Support:一次救命処置の略称」であり、急に倒れたり窒息を起こした人に対してその場に居合わせた人が救急隊や医師に引継ぐまでの間に行う応急手当のこと（日本ACLS協会）になります。

一昨年までは熊本市内に出向き1日がかりの受講だったのですが、昨年より当院へインストラクターに来て頂き、病院内でのBLS受講が可能となりました。

CPRに関しては例年、当院でも救急救命士からのCPR（心肺蘇生法）研修があり、方法・手技としての

知識はありました。しかし、日々の業務として心臓リハビリを主に従事しているためリハビリ中の事故が何時如何なる時に生じてもおかしくはないと漠然とした不安がありました。日々の不安払拭のための良い機会と考え今回の講習に参加しました。

まだまだ未熟ですが、小児・成人での処方の違いや救命での手順、重要事項などをしっかり学習でき、自分としては今までより緊急対応への知識・スキル向上が図れ、緊急対応への不安が軽減できたと思います。

講義の一部を紹介しますと小児での救命の違いでは「予防→CPR→連絡→ALS（二次救命）→ケア」という順番ですが、成人では「連絡→CPR→AED→ALS→ケア」となり、成人では心原性が多く、小児では呼吸原性が多いため等々。今日では当たり前ですが、CPRの手順としてC（胸骨圧迫）→A（気道）→B（呼吸）へと*変更となっています。

*（2010 AHA Guidelines for CPR and ECC）

当院は災害時の地域拠点病院でもあるため、一般市民・地域住民の方から病院職員は医療従事者としてできて当たり前と考えておられる方も少なくないと思います。BLS、CPRのスキルアップや興味のある方は是非、来年の受講を検討してはいかがでしょうか。



研修会・勉強会の行事予定表

1月6日（水）	S-QUE院内研修1000' Eナース 「実践！QOLを改善する栄養管理」 講師；平敷 好史 氏（那覇市立病院集中ケア認定看護師）	17：40～ 当院6階講堂
1月12日（火）	マザークラス お産の経過と呼吸法について	13：30～ 当院6階講堂
1月14日（木）	糖尿病教室 1. 薬について 2. 特定健診について 3. 食事指導	13：15～ 当院6階講堂
1月15日（金）	ハートリハビリテーション教室 心肺蘇生法について 講師；副院長兼循環器内科部長 脇田 富雄 看護師 片川 泰子	13：30～ 当院6階講堂
1月20日（水）	S-QUE院内研修1000' Eナース 「チームで楽しく行う看護研究の極意」 講師；卯野木 健 氏（筑波大学医学部附属病院集中治療室 看護師長）	17：40～ 当院6階講堂
1月29日（金）	特別講演 S-QUE院内研修1000' Eナース 医療の安全に関する研修 「医療安全とメデュエーション」	17：00～ 当院6階講堂

医療施設の皆様の勉強会・研修会への参加をお待ちしています。

参加申し込み・内容等については、地域医療連携室『TEL0969-62-1122（代表）』までお問い合わせ下さい。

編集後記

〇新年明けましておめでとうございます。今年が皆様にとってよき年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。今年もまた、「あこう」をお届けいたします。情報共有のツールとして役に立てればと願っております。何でも構いませんので、お気づきの事がありましたら、ご連絡おねがいします。（福田）

1月 診療案内

	月	火	水	木	金	休診日
内科 〔代謝内科 消化器内科 呼吸器内科〕	坂本 興美 和田 正文 石塚 俊紀 熊大代謝内科	和田 正文 谷口 純一 応援医師	樋口 定信 坂本 興美 石塚 俊紀 石塚 志穂	樋口 定信 和田 正文 石塚 俊紀 守田 雄太郎	坂本 興美 中本 弘作 応援医師	
循環器内科	脇田 富雄	脇田 富雄	脇田 富雄	脇田 富雄	脇田 富雄	
※ペースメーカー外来は（3、6、9、12月）に行います。						
小児科	田原 正英	田原 正英	田原 正英	田原 正英	田原 正英	
外科・肛門外科 消化器外科	福田 誠	城野 英利	福田 誠 ／ 蓮尾 友伸	城野 英利	蓮尾 友伸	
整形外科	藤松 晃一	上原 悠輔	藤松 晃一	【午後2時～】 久米慎一郎 (岩橋 頌二)	藤松 晃一	22日(金)
※毎週木曜日（予約制）は午後2時から午後5時まで診察を行います。						
産婦人科	姫野 隆一	姫野 隆一	姫野 隆一	姫野 隆一	姫野 隆一	
耳鼻咽喉科	—	熊大	—	—	熊大	
眼科	栗井 麻衣子	竹下 哲二	竹下 哲二	竹下 哲二	竹下 哲二	
※午後は、検査の予約外来です。ただし、月・水曜日は手術日です。						
皮膚科	—	—	—	尹 浩信	—	14日(木)
泌尿器科	—	小川 愛一郎	—	—	—	
超音波・ 内視鏡センター	蓮尾 友伸 城野 英利	福田 誠 蓮尾 友伸	城野 英利 和田 正文	福田 誠 蓮尾 友伸 國友 耕太郎	福田 誠 城野 英利	
歯科・口腔外科	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	
※午後は、1時～4時30分まで受付けます。						

教良木診療所 応援	樋口 定信	坂本 興美	応援	応援	石塚 俊紀 (午前・午後)
御所浦診療所 応援	竹下 哲二 (午前)				

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分まで行います。

※脳神経外科は月2回（第2、第4水曜日）の午後2時より診療を行います。（予約制）

※歯科口腔外科は月～金の午後も診療を行います。

※内科は木の午後5時～午後6時まで診療を行います。